

8 - 1 中国・四国地方の地殻変動

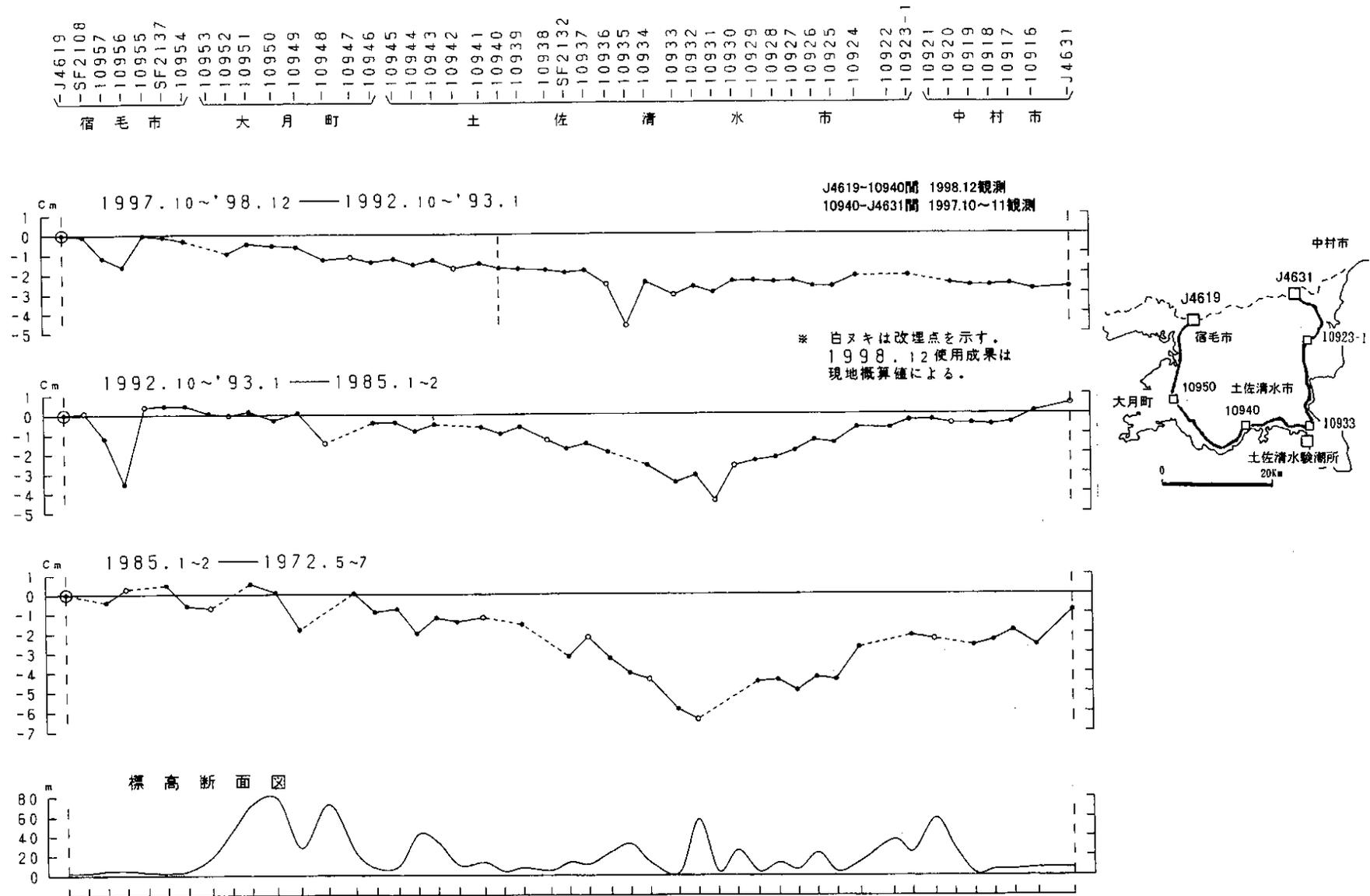
Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は、四国地方足摺岬先端付近を半周する宿毛市から中村市に達する路線の水準測量結果である。従来から土佐清水験潮場付近を中心としたローカルな沈降の傾向が続いているが、今回の観測では沈降の範囲が中村市まで広がっているように見える。これが、真の変化であるかどうか判定するためには今後のデータの蓄積を待つ必要がある。

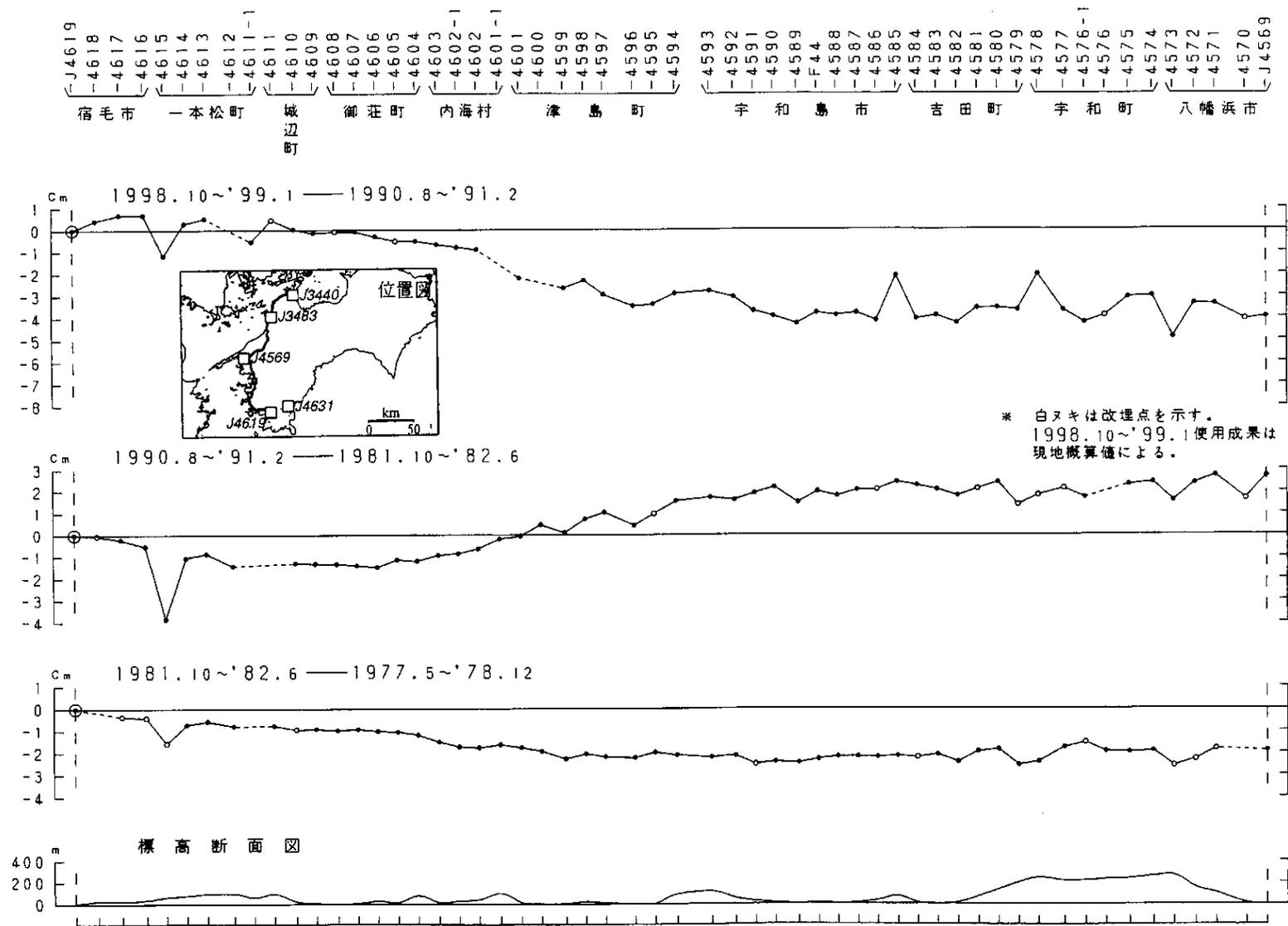
第2図は、瀬戸内海側の今治市から四国西岸を南北に縦断し宿毛市に至る路線における水準測量結果である。今回の1990-1998年の約10年間においては、八幡浜市付近の沈降が認められる。しかし、1990と1981の結果を比較した前回の観測においては、むしろ逆方向の変動が見られた。

第3図は、室戸岬付近の機動連続観測結果である。1996-1999年の3年間の歪みの蓄積を示しているが、北西 - 南東方向の短縮の傾向が顕著である。



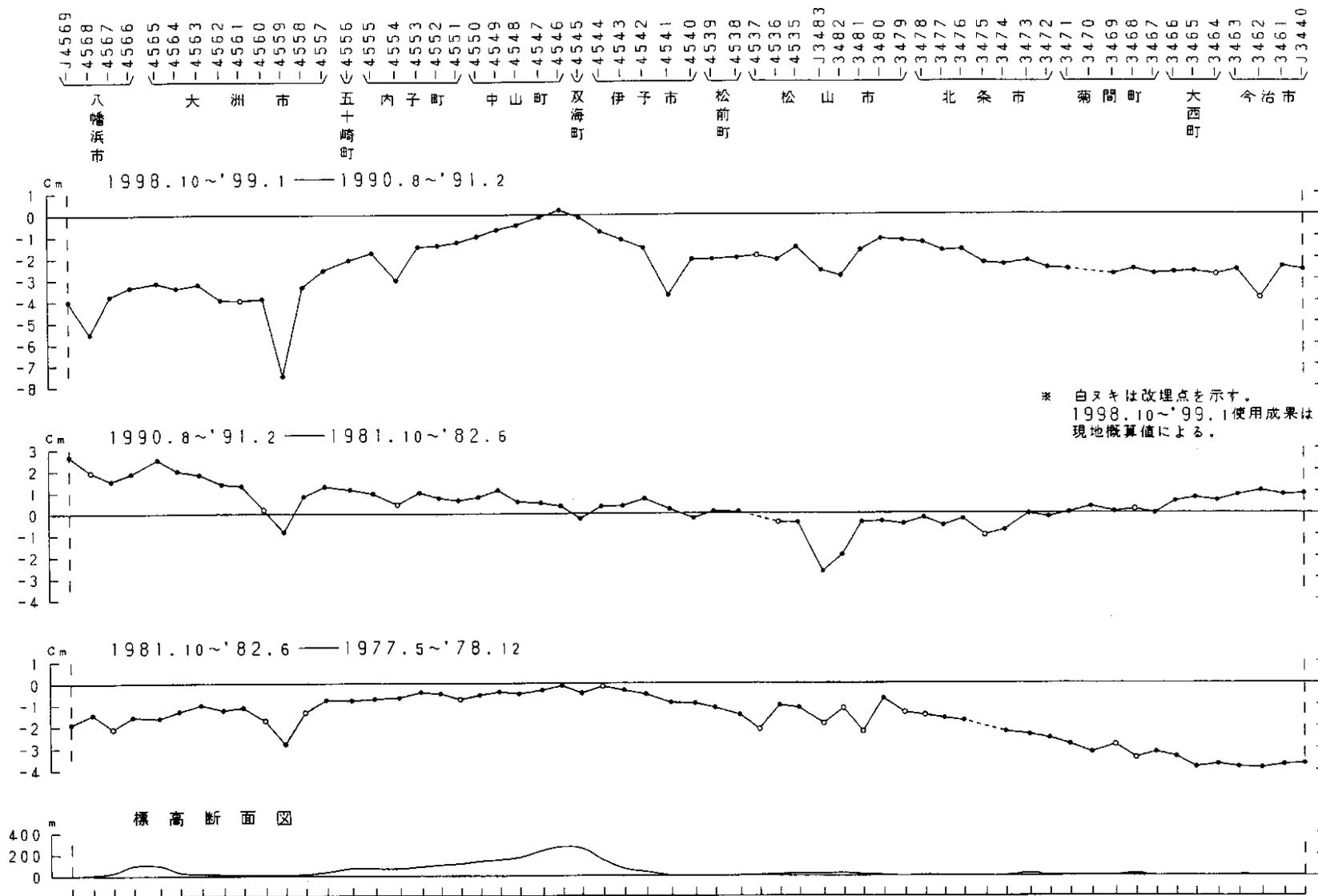
第1図 足摺岬付近の上下地殻変動

Fig.1 Results of precise leveling along the coast line of the Cape of Ashizuri.



第2図(1) 四国西部の上下変動 (1)

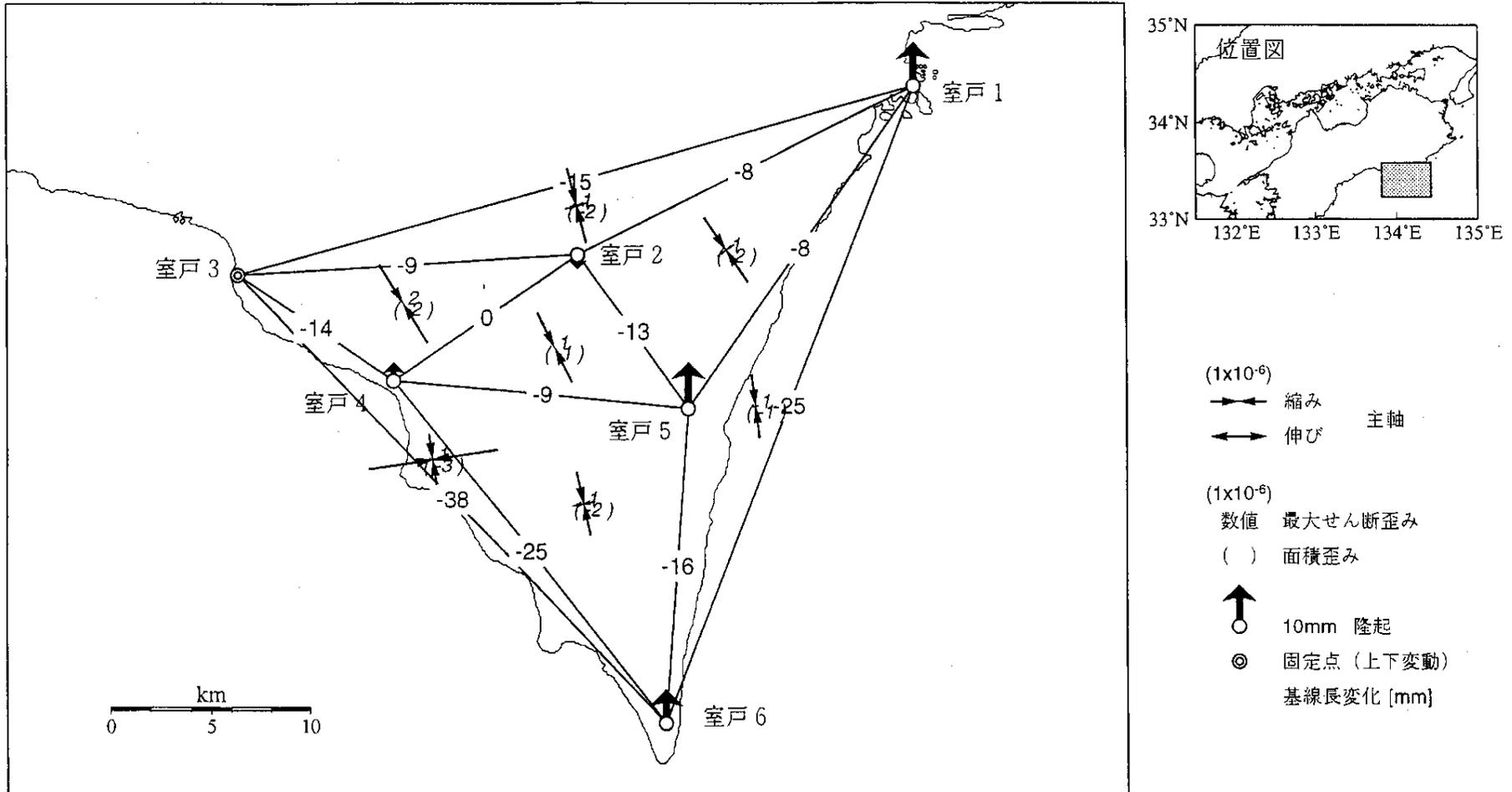
Fig.2(1) Results of precise leveling of along the western rim of Shikoku(1)



第2図(2) 四国西部の上下変動 (2)

Fig.2 (2) Results of precise leveling of along the western rim of Shikoku(2)

1999.1 - 1996.1



第 3 図 室戸地区機動連続観測結果

Fig.3 Results of precise GPS survey in the Cape of Muroto.